



結局何を選べば良いの？

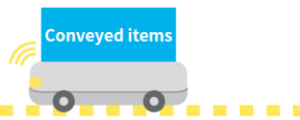
搬送ロボットのご提案

搬送ロボットの走行方式や搬送方式など多種多様で違いがわからない！

ロボット導入の検討はしているけど現場に合うロボットはどれだろう…とお悩みの方はいませんか？

搬送ロボットの 走行方式

AGV 有軌道式



磁気テープ、反射テープなどの誘導体によって誘導走行する方式。最も普及しておりコストパフォーマンスに優れている。走行ルートを変更する際、誘導体再敷設が必要。

AMR 無軌道式



自己位置測定機能、環境地図作成機能などにより誘導体がなくとも現在位置を推定して走行する方式。自己位置推定を妨げないような設置環境が必要。

追従式



先行する人や車両等に一定の距離を保って自律的に走行する方式。設置工事が不要で簡単。人を追従しているため無人化ではなく、省力化。

搬送ロボットの 搬送方式

積載タイプ

荷物を載せて任意の場所まで運ぶ、一般的な搬送ロボットです。従来は作業者が担っていた手押し搬送を自動化できるため、様々な現場で導入されています。



低床タイプ

荷の積まれた台車の下に潜り込んで、内蔵したリフターを用いて荷台を持ち揚げ、任意の場所へ運ぶ搬送ロボットです。（リフトUPせずに既存のキャスターにて搬送するケースもあります。）



牽引タイプ

荷物を荷台に載せず、連結金具にて荷物（台車）をけん引して任意の場所へ運ぶ搬送ロボットです。さまざまな荷物を載せた荷台を連結して移動させることもできます。



重量タイプ

重量物の搬送が可能なタイプ。数トンから数十トンの高重量タイプまで幅広く存在します。そのため、搬送物の重量に合わせて最適な型を選ぶ必要があります。



—お客様情報ご記入欄—

会社名:

担当部署/ご担当者様:

ご住所:

1. 搬送物について(写真、図面など添付してください)

①名称

②寸法

③特記事項

2. 設置環境について

①場所(屋内、屋外、階数、周囲温度など)

②搬送路面 ・傾斜の有無 % ・段差の有無 mm ・溝の有無 mm

③路面材質

④自動シャッター/自動扉の有無

⑤特記事項(粉塵、水滴、油分など)

3. 諸条件(仕様書あれば添付してください)

①搬送指示

②移動方式(積み込み、荷卸し、ドッキング、切り離しなど)

③搬送ルート(From~To どこからどこへ)1点~1点、1点~多点、多点~1点、多点から多点

4. その他(ご要望事項など)

高島電機株式会社

相談窓口



023-666-8970

本社代表 023-686-5522 酒田営業所 0234-22-8233 仙台営業所 022-292-6101
電設資材部 023-686-5515 南陽営業所 0238-40-2105 南関東営業所 046-408-1700
FAソリューション部 023-686-5520 北上営業所 0197-62-4588